

(3) 第2部 市政全般についての意見交換（要旨）

【市長】

皆さんに受付でお配りしたカードにご意見を書き添えて、模造紙に貼り出させていただきました。たくさんご意見をいただきましたので、この場ですべてにお答えすることは時間的に難しいですが、後日、「報告書」にまとめ、回答させていただきます。これから5つの分野ごとに私が少しお話をしてから、皆さんのご意見をうかがいたいと思います。



1. 健康・福祉

【市長】

最初に、**福祉公社の件**で皆様にお詫び申し上げなければなりません。すでに新聞報道等でご案内かと思いますが、福祉公社で、消費税がかからないと勝手に判断してその不払いがあり、1月に加算分を含めてお払いしたということでございます。こういうことを見逃ごしてきた責任者を処分することといたしました。報道が先になり、皆様には大変ご心配をおかけしまして、ここで改めてお詫び申し上げます。福祉公社は独立した機関ですが、市が監督責任を持つ組織ですので、今後、十分に監督指導してまいりたいと考えています。

福祉に関しては、制度改革の真ただ中で、国の細かな方針も市になかなか伝わってこないという状況もあり、皆様にもご心配をおかけして大変申し訳なく思っています。

介護保険については、今後の3ヵ年の保険料等の見直しの時期になり、ある一定の額は今回上げないとまるまる運営が成り立たない状況がありますが、保険料を上げるだけでなく、よりきめ細かいサービスを提供していきたいと思っています。この件については、改めて皆様に市報などでご説明したいと考えていますが、その間にご心配な点がありましたら、直接介護保険課にお問い合わせいただければと思います。

在宅介護支援センターについては、それがなくなるのではなく、現在6ヶ所あるうちの3ヶ所が、包括支援センターという形で、より強化された組織になります。桜堤、ゆとりえ、高齢者総合センターの3ヶ所は、在宅介護支援センターとしての機能を維持したまま、包括支援センターとしての機能がプラスされることとなります。

障害者自立支援法についても、一部4月から施行、10月以降に本格実施されるということで、まだいろいろな細かい政令等が規定されていないということがあります。市の方でもきちんと説明していきたいと思いますが、それまでの間、ご不安な点については障害者福祉課にお問い合わせをお願いします。

（参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については19ページをご覧ください。）

1. 高齢者の認知症予防等について

【発言意見】

武蔵野市では現在、認知症予防プログラムを実施し、「ぼけ予防協会」、「東京都老人総合研究所」とともに、予防効果を検証する研究事業を行っている。私は現在 83 歳で、昨年 1 月に開催された認知症予防講座を受け、脳機能の検査、知能検査に応募したが、70 歳代が対象で、80 歳代は対象外という理由で断りの通知をもらった。

また、先日高齢者の健康調査があり、77 歳の家内のところには調査票が来たが、私のところへは来なかったので、高齢者福祉課に問い合わせたところ、予算がないので 70 歳代だけを対象としていて、80 歳代は対象外とのことだった。

年をとればとるほど認知症や老人病にかかりやすくなるので、対象年齢について一考してほしい。

【市長】

認知症については、年齢に関わらずいろいろな世代で心配されています。今日は担当課が来ておりませんが、年齢で区切るのではなく広く皆さんにご意見を聞くなりしていくべきだとも思いますので、検討課題とさせていただきます。

2. 子ども・教育

【市長】

武蔵野市でも**少子化**の波がすごい勢いで起きています。少子化は一つの自治体で解決できる問題ではありませんが、いろいろな子育て支援施策を積み重ねていく中で、子どもたちが安心して過ごせるような、あるいは安心して子育てできるようなまちづくりを進めていきたいと考えています。

保育園については、ご要望のお子さん全員を受け入れられるかといいますと、そうではない状況がまだ続いています。子どもの数は減っているけれども、保育園への入所を希望される方は逆に増えているという面もありますので、なるべく保育園についても充実していきたいと思っています。来年度は東京都認証保育所が市内に新設される計画があり、市としても支援していく予定です。

中学校給食については、現在庁内でプロジェクトチームを発足して、課題を整理しているところです。年度内に中学生と保護者向けのアンケートを実施して、現在どのように昼食をとっているかなど、基本的なことをお聞きしたいと考えています。やるからにはきちんとした中学校給食にしたいと考えていますが、市が一方的に実施していくわけではなく、平成 18 年度には市民の皆様のお意見もお聞きしながら、具体的な実現に向けた検討会をスタートさせたいと思っています。ご家庭によっては弁当の方がいいというご意見もありますので、弁当も選べるような仕組みを考えて、来年度、実際に試行してみて、子どもたちの意見も聞いたうえで本格的な実施になればという思いであります。

「**小学校給食**はいつから生野菜が食べられるのですか？」というご質問が出されています。O-157 の問題で今、温野菜しか食べられないのですが、今後の課題だと思います。

小・中学校教育についても、非常に気になっておりまして、現在、教育委員が 1 人欠員の状態ですので、早く補充したいと考えています。ゆとり教育の関係で何年か前から土曜日の授業がな

くなり、武蔵野市では「土曜学校」や地域の活動を実施してきましたが、そういうことをもう一度評価するなど、子どもたちの教育問題については、大いに皆さんからも意見を聞き、教育委員会にもどんどん意見を言っていきたいというふうに思っています。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 23 ページをご覧ください。)

1. 中学校の内申について

【発言意見】

私の子どもは五中に通っているが、五中の内申について、市内公立中学校の成績一覧表を見ると、例えば主要5教科の成績で「5」の割合は、市の平均が15%程度なのに対して、五中の1学期の場合は5%くらいになっている。来年受験で、他の中学に行けば推薦が取れるのに、五中にいる限り推薦が取れないのではないかと心配している。この件については、校長先生にも言い、教育委員会にも訴えが、「校長に指導している」「校長が各教科の先生に指導している」という回答しか返ってこない。

【市 長】

お母さんとして熱い思いがあろうかと思えます。内申の問題は教育委員会の所管ですので、市長として物を申すのが難しい部分ですが、今日のご意見については、教育長にもしっかり伝えまします。公立中学校として、内申についてもきちんとした考え方のもとで決められていると思えますが、もう一度その辺の考え方を整理して、きちんとお答えするよう申し述べておきます。

2. 教育委員について

【発言意見】

先ほど市長より、教育委員の話があったが、私は前任者の方を存じていて、境南小学校のPTAや家庭教育の部分などでも指導をしていただいた。学校の現場へもよく足を運んでいただき、地域の住民や保護者にとって心強い存在だったので、おやめになって残念がっている人が大勢いる。どうしておやめになったのか聞きたい。

【市 長】

長期間にわたって教育委員を務めていただいたため、今回の任期満了に伴って、新しい方ということになったと思えます。

3. 緑・環境・市民生活

【市 長】

ごみ問題の中で、**朝一番隊**の話が出されています。市では駅前の清掃を業者委託で行っていますが、業者が清掃を行わない日曜日について、地域のボランティアの皆さんに「朝一番隊」という形で1時間ほど清掃のご協力をお願いしています。有償ボランティア的な意味合いで、一定の報酬をお渡ししていますが、それはひとつの形として良いのではないかと考えています。「老人会や子どもたちが楽しく清掃していたのに、なぜ変わったの？」とのご意見ですが、もちろんボランティアでお手伝いしていただければありがたいことですので、ぜひご参加いただければと思い

ます。

禁煙地区のご意見が出されていますが、武蔵境駅周辺でも、喫煙コーナーを設けて、そこでタバコを吸っていただくことになりましたが、一定の効果は上がっています。禁煙区域が分かりづらいという指摘もあり、案内図の設置を検討していますが、禁煙区域を広げるかどうかについては、案内図等で周知を図ったうえで、問題がある箇所については増やすことも検討していくことを考えています。

緑・公園については、境南町にはあまり大きな公園がありませんので、今あるオープンスペースは確保していかなければならないと思っています。公園内への**トイレの設置**については、公園周辺にお住まいの方にとってはあまり良い施設ではないので、市では一定の基準をつくって、5,000 平米以上の公園にはトイレを設置しようということになっています。ですから基準以下の公園への設置は難しい面がありますが、地域の方の話し合いや周辺の方々の合意があれば設置も可能かと思っています。

防災の件で、**耐震簡易診断**について、従来は高齢者世帯だけを対象としてきましたが、東京都が指定した木造密集地域内の民間住宅については、今年度から高齢者以外の世帯も対象とすることになりましたので、ご心配のある方は住宅対策課までお問い合わせください。

また、**災害備蓄用の毛布**は、境南小に 100 枚、桜野小の大型倉庫には 1 万 6,400 枚あります。「いざというときに桜野小からどうやって運ぶの？」というご意見ですが、災害が起きたとき、ある一定期間に毛布が届くように、緊急時に境南小に駆けつける市の初動要員が地域の方と体制を整えるということだと思っています。今の時点でどうやってという具体的な考えはまだありませんが、今後の課題だと思っています。

「境南コミセンの体育館に空調設備を」というご意見が出ています。公共のスペースですから、確かに要望はあるかと思っています。ただ、これだけの大きな空間で冷暖房をかければコストもかなりかかりますので、コミセンでもう一度ご協議いただいて、それでも必要ということであればご提案いただければと思います。

生涯学習の件で、「**西部図書館**を残すべき」というご意見を結構いただいています。まだ、完全になくすという結論までは出ていませんが、今までの流れからいうと、西部図書館の機能を「武蔵野プレイス」に移すという一定の方向があります。それはそれとして、新たに西部図書館で何をするかということについては、来年度の長期計画調整計画の中で大いに意見交換をして、方向性について皆さんからご提案いただければと思っています。

スポーツに関して、思い切り運動ができる**スポーツ広場**については子どもたちからも要望がありますが、スペース的にはなかなか難しい状況があります。例えば、これからも学校の校庭開放のような工夫をしていくと同時に、地域の民間の学校等にもお借りできる場所は利用させていただきながら、スポーツのできる空間を確保していきたいと思っています。

武蔵野プレイスについては、第 1 部でもたくさんのご意見をいただきましたが、限られた敷地をいかに有効に使っていくかということだと思っています。駅前の一等地だからそれなりの使い方をしたほうが良いというご意見もありますが、駅前の公共空間としての有益性、有効性も追及していいのかなという思いもあります。私は基本的にはあそこに施設があってもいいのではないかという思いがあり、つくるからには使いやすい施設、ずっと使い続けられる施設にして、機能を備えた上でコンパクトなものができればいいと思っています。また、運営方法についてはまだ決まっ

ていませんが、運営費を削減するためにはかなりの工夫をして、地域の方にもいろいろな面でご協力いただくことが必要不可欠になってきますので、皆さんとも意見を交わしながら考えていきたいと思っております。いずれにしましても、武蔵野プレイスについては、あさって（2月21日）の市議会特別委員会（鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会）で一定の方向をご説明し、いろいろ意見交換をした上で、皆さんに経過をお知らせし、また皆さんの意見をお聞ききしながら4月以降に基本設計の見直しを進めていきたいと思っております。

（参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については26ページをご覧ください。）

1. 禁煙区域の拡大について

【発言意見】

私は毎日、子どもの通園のために、武蔵境北口から歩いているが、亜細亜大学の学生の歩きタバコや歩きメールがひどくて、何度も危険な目に遭っている。亜細亜大学にも電話をかけた。交番にも言いに行ったが、「それは市が決めること」、「モラルの問題だから交番は何もできない」と言われた。できるだけ早く禁煙区域を広げてほしい。

【市長】

禁煙区域の拡大については、先ほど申し上げたとおりです。また、亜細亜大学にも学生に指導していただくよう言っていきたいと思っております。

2. 境南町二丁目の空き地について

【発言意見】

境南町二丁目の境南第二保育園の横に空き地があるが、何年も空き地のままで、国の土地であれば何か有効利用するように交渉ができないか聞きたい。



【市長】

何に使うかという具体的なアイデアがあれば市としても検討の余地があったかと思いますが、今までの経過の中では、皆さんからこうしてほしいという要望もなかったもので、目的もなく土地を買うということはしなかったということだと思っております。

3. 自主パトロール隊について

【発言意見】

私は境南子どもクラブの父母会をやっている。自主パトロール隊の活動がなされていて、子どもを持つ親にとっては非常にありがたいと思う。小学校では学校区で先生や地域の方が2時から3時を目安にパトロールをされているが、学童クラブの児童は5時から6時が帰宅時間になるので、この時間帯のパトロールについても地域の方の協力がいただけるよう、市の方からも働きかけてもらいたい。

【市長】

学童クラブの子どもたちの帰宅時間が6時ごろで保護者の方が心配されていることは市として

も受け止めています。いろいろと地域の方に協力を呼びかけているところですが、子どもたちの安全が守れるよう、市としてもいろいろな面から考えていきたいと思っています。

4. 武蔵野プレイス（仮称）について

【発言意見】

図書館などは、身近なところで気軽に使えるほうが良いので西部図書館は廃止しないでほしい。また、市民会館は専門的に使われており、施設はあちこちに分散していたほうが良い。武蔵野プレイスについては、一定の規模で見直して、大きな施設に機能を集約するのではなく、専門性のあるものを大切にしてもらいたい。

【市長】

西部図書館も市民会館も、今後の利用については来年度の調整計画の中で、皆さんからご意見をいただいた上で見直すべきものは見直していきたいと思っています。地域ごとに小さな施設があれば利便性が高いという趣旨はわかりますので、今後議論をしていきましょう。

5. 職員非常参集訓練について

【発言意見】

1月14日に市で行った職員非常参集訓練について、市に、「職員の参集状況を市報で知らせてほしい」とメールを送ったところ、「市報で発表する予定はない」との回答をもらった。非常の際、自分で自分の身を守るためにも、市役所に職員がどのくらい配置されるのかというデータが必要だと思うので、公表してもらいたい。

【市長】

その件については、参集訓練を2カ年に分けて行ったため、正確な数字が出ないことから公表できなかったものです。ただ、課題として、武蔵野市では市内在住の職員が3割以下なので、急な事態に市役所に集まれる職員が少ないということがあります。初動態勢をとれる職員で、どのようにしてきちんとした体制をとっていくのか、早急に構築していきたいと思っています。

4. 都市基盤

【市長】

都市計画道路について、イトーヨーカドーの南側の桜並木をずっと三鷹方面に行った先が行き止まりになっていることについてご意見が出ています。行き止まりの先は三鷹市の都市計画道路となっていて、JR電庫の南側は住宅が密集していますので、整備には難しい面がありますが、三鷹駅方面に結ぶ予定になっています。

また、境地区では都市計画道路の整備率が結構高くなっていますが、今回、日赤の北側の狭くなっている道路を拡張して、境南コミュニティ通りを東に延伸しようという計画があり、今、地元の方に説明を始めたところです。

「JRの**中央線連続立体交差事業**がいつ終わるのか」というご質問がありますが、来年下り線が上に上がって、平成20年度中に西武多摩川線とJRの上り線が上がりますので、それでよい

よ南北一体化が実現することになります。

ムーバスの件は、第1部で申し上げました。

自転車について、境地区には南北あわせて9,000台分くらいの駐輪場がありますが、南口の5,000台は市有地ではないので、いつどうなるか分からないという不安があります。ただ、中央線の立体化がなされれば、その高架下の利用も考えられるので、今、JRと協議を進めています。ぜひJRの下を利用させていただいて駐輪場を確保していきたいと考えています。

バリアフリーのまちづくりについては、歩道の段差や危険な箇所等ご指摘をいただきながら、バリアフリーの道づくりを進めていきたいと思っております。

都市景観については、**電線類の地中化**を駅前地区、あるいは商店街から進めて、ゆくゆくは住宅地でも市民に空を開放できるような景観づくりを進めたいと考えています。

仙川の改修については、一部桜堤団地で親水性のある仙川が完成しましたが、西側地区についても、これから民間等が入っているいろいろな開発が進められる中で、仙川も改修して親水性のある川にしていきたいとのことをございます。

下水のにおいについて気になることのご意見がありますが、これは所管課のほうに伝えます。(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については37ページをご覧ください。)

1. 西久保で行われている市の工事について

【発言意見】

今、西久保では、二丁目のいなげやの前の公園と一丁目の野鳥の森公園で市の工事が行われている。現場の前を通ったとき、何の工事か知りたかったので、直接工事の方に聞いて私自身は内容が分かったが、そこを通るほかの人たちも私と同様に工事の内容を知りたがっていると思う。工事現場の看板は、責任者の名前とかしか書かれていないので、市民に対してもう少し情報を公開してもらいたい。

【市長】

西久保の工事は、周辺住民の皆さんを対象に説明会をしたようですが、やはりPRが不足していたかと思えます。また、何の工事かということをきちんと説明する工夫も必要ですね。先日三鷹市の工事看板を見たら工事費まで入っていました。情報公開的には非常にわかりやすいので、武蔵野市でもできるかどうか検討するように担当に話をしたところです。

2. ムーバス停留所のお知らせ・工事作業員の対応について

【発言意見】

私はムーバスの停留所近くに住んでいる。昨年、道路工事があって、一時的にムーバスが通行できない期間があり、そのお知らせが停留所に貼られたが、昨年8月に工事が終了したにもかかわらず、現在もそのお知らせが貼られたままになっている。職員が頻繁に市内を歩いていると思うが、自分の仕事でなければ何もしないという気持ちなのか。

自宅近くで、今、水道工事が行われている。お昼になると作業員が外でむしろも敷かず座って弁当を食べているが、車内で食べるとか、コミセンで食べるとか、道に座ってたばこなんか吸わないで一生懸命働いてもらって、良い工事ができるように市でも考えてもらいたい。

【市長】

ムーバス停留所の貼り紙については、至急調査をして対処いたします。

また、工事業者については、市で工事の発注はしておりますが、昼食や喫煙のあり方については業者の考え方もありますので、なかなか難しい問題かと思えます。今後の課題として庁内でも話をしてみます。

5. 行・財政

【市長】

市民参加の仕組みについては、このタウンミーティングもひとつの試行ですが、まだ完全な確たるものではありませんので、皆さんと行政との意見交換の場を増やすことによって市民参加の仕組みを確立していきたいと思っています。皆さんにお願いしたいことは、意見を言うだけではなく、実際に皆さんに主体的に活動していただきたいということです。その活動を支える市役所でありたいと考えています。

今、「**まちづくり条例**」の検討を始めています。また、ゆくゆくは、自治体の憲法とも言われ、行政の役割、市民の役割を明確にして市民参加のあり方を規定する「**自治基本条例**」もつくっていききたいと思っています。

健全な財政運営については、例えば武蔵野プレイスに関して財政問題を心配されている方も多くいらっしゃいますが、きちんと財政計画を立てた上で施設づくりをしていくべきだと考えています。

情報公開は市民参加と表裏一体で、市民の方が活動するためには、市の情報を皆さんに伝えていくことが必要です。市報、ホームページ、ケーブルテレビ、むさしのFMなどいろいろな方法がありますが、タイムリーな情報提供をしていきたいと思っています。2月15日にホームページをリニューアルしました。また、私の「活動日誌」も3日ほどまとめたものを月曜日と金曜日に更新しています。これからも必要な情報を提供していきたいですし、皆さんも知りたいことがあれば、ぜひ市の方にお申し出ください。

「**広報誌**の中で私の考えを述べよ」という意見がありますが、今、市報は月2回の発行で紙面も限られていますので、私のスペースがとれるのかどうか今後検討してみたいと思います。個人的には、市の情報にプラスして市民の皆さんの情報をもっと取り入れてもいいかなと思っています。広報誌の紙面づくり、広報活動のあり方については、これから皆さんとも意見交換しながら充実していきたいと考えています。

議員定数についてのご意見がありました。議員の皆様が今、議会改革を検討されていますので、議員の皆様からの提案を待ちたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については42ページをご覧ください。)

1. 課税事務のタイムラグについて

【発言意見】

私の収入は年金だけだが、課税事務について、所得税の確定が2～3月、市民税、国民健康保

険税が6月と、時期がばらばらな上、介護保険料の年金からの特別徴収の修正は10月となっており、家計の計画上、毎月の手取り額が一定せず大変困っている。

市に問い合わせたところ、所得税は申告制度、市民税は課税制度というような説明を受けたが、難しくて分からなかった。課税事務のタイムラグの問題について検討をお願いしたい。

【市長】

住民税は都道府県と市区町村の税金であり、所得税は国の税金です。税の性格や納め方、税率などで細かい違いがあります。住民税は、都道府県分も合わせて市区町村が窓口となります。所得税は税務署が窓口となっています。

所得税はその時々収入から概算して源泉徴収し、年末調整や確定申告によって後から調整をします。住民税は年末調整や確定申告の結果を受けてそこから計算し、税額を通知するという仕組みをとっています。

税金や保険料などは、それぞれの制度によって定められたルールがあるため、難しい問題ですが、市民の方にとってどういう方法が良いのか研究してみたいと思います。

(4)閉会のあいさつ

【市 長】

本日はほんとうにありがとうございました。173名の方にご参加いただいたということで、やはり皆さん一人ひとりから直接お声をいただけなかったのは残念でございますが、まだ時間がありますので、カードにご意見を書いて貼っていただければ、それをきちんと記録してきちんと皆さんに返していく、そして、可能なものは市政に反映していくというスタンスでございます。今日は、プレイスの問題も十分に意見交換できなかったわけでございますが、あさって市の考えを発表した後にも、またいろいろと意見を賜りたいと思っています。

意見をいただく機会は、この場だけではなく、「市長への手紙」という制度もございますし、それから、直接、お声をかけていただいても結構でございますので、今後ともよろしく願いいたします。皆さんと意見を交換しながら、市民が主役の市政と一緒に進めていきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

それから、境南コミュニティ協議会の皆さん、会の企画から準備、進行まで多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。無事に終了できたのも皆さんのおかげだと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。